

議 長 日程第5「一般質問」に入ります。

一般質問は通告順に行います。受付番号第1号、寺嶋正君の一般質問を許します。登壇願います。

12番 寺嶋 おはようございます。それでは、一般質問を行わせていただきます。受付番号第1号、質問議員、12番 寺嶋正。件名、オンデマンドバスの運行と水道施設の耐震化について。

要旨。1、A I オンデマンドバス「のるーと足柄」の運賃改定及び運行体制の変更について、11月からの実施開始日が延期になりましたが、運輸局の許可はいつ頃おりののですか。もうおりておりますね。現在の利用状況と、持続可能な交通サービスとなるように、会員を増やすことなど、今後の運行や料金の見直しに関する対策と方針について伺います。

2、国土交通省は、能登半島地震を受けての緊急調査で、災害拠点へつながる水道管路等の耐震化は全国で15%にとどまっていると公表。能登における被災地の一部では、水道施設の断水が長期化しています。本町における水道施設の耐震化の進捗状況と耐震化計画などについて伺います。

町 長 それでは、寺嶋議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。1つ目のA I オンデマンドバスの運賃改定及び運行体制の変更につきましては、令和5年10月から約7か月間運行してきた実績をもとに、令和6年5月に行われました町地域公共交通会議にて運行体制の協議を行い、料金改定につきましては町運賃協議会での協議を得て国へ申請を行い、11月26日に運輸局からの許可を頂きましたので、12月1日より運賃変更での運用を開始したところでございます。なお、変更内容の周知につきましては、11月19日以降、スマホのアプリや町LINE及びホームページなどで随時周知を行っているところでございます。

次に、今後の運行や料金の見直しに関する対策と方針についてでございますが、令和7年度末までの残り約16か月間が実証実験の運行期間となりますので、毎月の運行状況から得た課題について対応を行い、本町に合った持続可能な公共交通サービスのスタイルを確立してまいりたいというふうに考えております。

本事業について改めて申し上げますと、国のルールに基づく事業として、路

線バスを補完しながら、これまでサービスが行き届かなかった地域や時間帯をカバーし、またタクシーのようにドア・ツー・ドアというわけにはいきませんが、町内等に乗降場所を多く設置して、利用者の自宅近くにて乗り降りができるようにするバスとタクシーの間として、利用される方々の利便性の向上を図る事業でもございます。

現在の乗車回数について申し上げますと、令和6年10月末現在まで、12か月間の合計2万7,687回、スタートからの1日1台当たりの利用平均回数につきましては、令和5年11月から令和6年5月までの7か月間では4台運行について1台当たり平均19回、6月から10月までの5か月間では1台を減らして3台運行にて1台平均24.9回となっている状況でございます。法人では、令和6年度の目標数字を1日1台当たり利用平均回数を約80回まで増やすということ掲げておりますので、ほど遠い状況でもあります。

令和6年度においては、1年目の結果を踏まえた上で、持続可能な事業となることを目指し、運行計画や乗車運賃などについて、実情に合わせて改定するとともに、町民ニーズを踏まえた利便性の向上並びに持続的な運行に向け、今後は3か月ごとに運賃の見直しや車両の台数及びバス停等の再検討を行ってまいります。

今は利用されていない方であっても、5年後、10年後には必要となる方々のためにも、継続していかなければならない事業と考えておりますが、現在の利用状況が改善されないままでは継続が非常に困難な状況でございますので、実証運行期間が終了した令和8年度以降、自立・自走した形で運行が展開できるよう、とにかく多くの方々に乗っていただき、育んでいただくよう、ことにて持続可能な事業として成り立ちますので、引き続き御支援のほど、よろしくお願いをいたします。

続きまして、2つ目の御質問にお答えをいたします。能登半島地震における復旧の長期化を背景として実施されましたこのたびの国の緊急点検における耐震化率15%とは、地域防災計画等に定められた避難所や医療機関等の災害拠点に限定し、そこに接続する管路やポンプ場を対象として、上・下水道ともに耐

震化されている全国の割合となっております。

同様なルールに基づき、松田町の状況について申し上げますと、上・下水道の両方が耐震化されている箇所はまだなく、耐震化率は0%となっております。

その理由を申し上げますと、上水道事業におきましては現在の管路等が耐用年数50年に達していないことや、寄簡易水道事業においては経営基盤の弱さを背景に、耐震化を進められなかった経緯がございます。また、下水道事業におきましても、管路等が耐用年数に達していないため、耐震化が図れていない状況でございます。

耐震化の方向性につきましては、上下水道事業の管路につきましては令和11年度頃から耐用年数を迎え、避難所や病院など重要な拠点につながる主要管路を優先的に耐震化をしていく予定でございます。

国も下水道事業は令和7年度までに耐震化計画策定の要請があるなど、先行して市町村に求めてきております。本来ならば町の上下水事業と寄簡易水道事業においては、安定した経営を行うため、それぞれの必要に応じた対応を行うべき時期を迎えているところでございますが、今年度から水道の所管も国土交通省に移管されたことで、上下水道の一体での耐震化等基盤強化が打ち出され、これまで上水道において活用できなかった支援制度なども見直しされるとの情報もありますので、本町においてもこれらの情報を注視し、適切なタイミングで耐震化計画の策定や耐震化整備を行ってまいりたいとも考えております。

今後は支援制度が拡充されましても、自己財源の確保は必要不可欠な状況でありますので、安定した事業経営と安心・安全に寄与する計画的な整備を実現することを目的とした審議会等からの御意見を賜った上で、施設の更新計画や耐震化計画に基づき、安全性を高めてまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

12番 寺 嶋 再質問を行わせていただきます。まず、最初1点目ですけれども、オンデマンドバスの運賃改定及び運行体制の変更について、確認を含めてね、お尋ねをいたします。

運賃について、1回につきは大人がエリア内で500円、エリアをまたぐと300

円プラスで800円になるということなどあります。町民割も100円ありますけども。あと、定額制パスポートが大人が1か月分で換算すると7,200円、シルバーの方は5,600円などになります。なるということですね。

それから、特に伺いたいのは、運行エリアについて、現在松田町内、大井町まで走っておりますけども、12月から新たに開成町内にもミーティングポイントを設置するということになっておりますけども、開成町はロピアとかも含めて何か所増えたのでしょうか。それから場所もですね、こういったお尋ねします。

あとは運行時間については、平日・土曜日が午前7時から午後9時、日曜日・祝日が午前8時から午後8時という状況になるようですけども、この辺の確認と、新たなミーティングポイントについてお伺いをします。

参事兼政策推進課長

寺嶋議員の御質問にお答えをさせていただきます。12月からですね、開成町にエリアを拡充し、収支状況も踏まえてですね、見直しをしていくところでございます。開成町につきましては、10か所になります。現在10か所のポイントを設置している状況でございます。マックスバリュー開成店、吉田島高等学校前ですね、開成町福社会館、足柄瀬戸屋敷、開成水辺公園、そしてロピア開成店、そして西松屋、子供の用品を売っているようなところ。あとはサウステラス、南小学校、開成南小学校の前にあるサウステラスという場所を一部置いております。それとマックスバリュー駅前店、中家村の公園の駐車場ですね。を現在ポイントも設置して取り組んでいるところでございます。

そして、先ほどの時間帯ですね。時間帯につきましては、寺嶋議員のおっしゃるとおりですね、平日・土曜日につきましては7時から9時、午後の9時、日曜日・祝日につきましては午前8時から午後の8時。平日の…平日と土曜日につきましては、松田から寄間の定時、定路をですね、朝7時から8時の間、そして夜の8時から9時の間で運行をしている状況でございます。以上です。

12番 寺嶋

では次にですね、利用状況ということで、先ほど回答がありましたけども、この昨年から今年10月まで、1年間で約2万7,000…2万8,000弱ね、の利用者というか、回数がありました。それで、6月から10月まで3台運行で、5か月間では1台当たりね、24.9回ということですけども、そうしますとこういう状

況ではですね、なかなか持続可能ということじゃなくて、持続はできないというのが現状だと思うんですけども、当初予定していた見込み数より相当ね、少ないわけですよ。最近…わけですよ。それから、最近、町広報では協働まちづくりアンケート結果で主に多かった声ということで、町にスーパーがないので不便だということとかね、車が使えなくなったときの移動手段、移動方法が不安だということで、これは今後こういう高齢化も踏まえてね、やっぱり需要はね、あると思うんですけども、公共交通にも出されておると思うんですがね、この今後のですね、今後のオンデマンドバス利用者数の見込みについて、どのようになっているのか。あと、町の考え方はどうなのかについてお伺いをいたします。特に6、7、8年度ぐらいまでの推計をですね、できましたらお知らせ、お伺いをいたします。

参事兼政策推進課長

それでは、寺嶋議員の御質問にお答えをさせていただきます。まず、令和5年度ですね。収支率を見ますと、全体の3%ですね。登録者数、利用者数、収入など見ますと、収支率については3%の状況でございました。10月の現在ですね、令和6年10月、まだ料金改定見直す前の状況で見ますと、登録者数がですね、延べ1,811人、10月の1か月ですね。利用者数につきましては、2,436人という状況でございます。収入を見ますと、約48万円がこの月の状況です。運行コストが約500万円ぐらいと、9月より減額をしておるんですけども、そこで収支比率は9.6%まで上がっている状況でございます。ただしですね、この9.6%におきましてはですね、非常に厳しいという状況にもなっている。ただ、確実に上向きを見ている状況でございます。

料金改定をここ、した場合の推計もしております。これらの10月の利用状況を踏まえながら料金改定をした場合の収支見込みが約25%までを見込んでいくところでございます。こうしたものを踏まえながらですね、実証実験を今後、先ほども言ったとおりですね、残りの数十か月やっていくことになるんですけども、その中でもですね、利用状況や利用の運賃なども、3か月当たりの見直しを検討していくということで先ほど回答させていただきました。状況によってはですね、利用者数があまり伸びない場合につきましてはですね、もちろん

法人の営業活動も今後進めていく状況ではございますので、それら踏まえた上で改めて検討していくということで努めていきたいと考えております。

その中でですね、料金の改定と併せてですね、法人のほうの営業活動もやっていくというふうになっております。主なものにつきましてはですね、ワークショップなどの来場者向けですね、送迎需要のある企業、あるいは法人パスの営業、また福祉センターまつりやヤオマサさんにいろんなポスターを貼ったりですね、掲載の負荷をかけるということと、クラウドファンディング型のふるさと納税を推進するということ。また、定額制のパスポート以外の利用者アップのためにですね、車両の広告収入増の営業活動にも強化をするというところで今後もですね、取り組んでいくという方針で、この事業を進めていきたいというふうには考えております。以上です。

12番 寺 嶋 おおよそ利用者を増やす、それからPR活動ということで、おおよそ分かりましたけども。ただね、10月…12月から利用料金等を見直して値上げ…値上げというかね、見直したことで、パスポート会員というのはそんなにこれからは増えないんじゃないかなと思うんですけども。今のね、状況の置かれた中で、今後そんなに伸びないということになった場合ですね、令和7年度まではね、実証実験がありますけども、実証実験は利用者数が少ない、それから採算がとれないという場合でも、続けられていくのかなと思います。それから、本格…令和8年度かな、3年弱の実証実験を得て、本格運行にする場合ですよ、そういうことが場合、見直し等も含めて今後ね、今、官民連携で民間、足柄オンデマンドがね、運行の管理をしていますけども、本格運行に向けてね、もし民間がそういうことで引き受け手がないということになれば、直営も視野に入れた形でね、本格運行をする必要があると思うんですけども、その辺の今後の長期の考え方についてお伺いをいたします。町長、いかがですかね。

町 長 御指名いただきましたので、私のほうから。おっしゃるとおりに、手法はたくさんあるかというふうに認識しています。なるべくならばですね、直営ではなくて、民間の会社さんをお願いをしたいというふうに思っていますので、それでもなかなかやってくれない場合は、継続していくためには直営というのも考

えなきゃいけないと思いますけども、第1番目にはやはり、この会社さんがなくなったにしても、ほかの民間の会社さんをお願いをしたいというふうにも考えています。その選択肢の中にはタクシー事業者さんもあれば、今やっただいているバス会社さんもあったりとか、それとか、それでも駄目ならまたほかの既存の団体さんをお願いするとかいうようなこともありますし、というふうな一つ一つ当たってみてですね、駄目な場合にはやっぱり直営も考えなきゃいけないかなと。ただ、直営になった場合には、なかなかそれが専門で職員をやっぴり雇ってはいないので、非常に何か、要はお金の話しちゃって申し訳ないけど、資金的なとかね、財源的なところが結構きつくなるのかなという心配もありますので、なるべく民間の方々の知恵を頂いて、活力の中で運営できるような方法を目指してはまいりたいとは考えていますが、セーフティーネット的にはそこはあり得るかなと思います。以上です。

12番 寺 嶋 今ね、先ほど語る述べましたけども、なかなか利用者が、10月末でも、時点でも広報に載ってますが、10月末時点の登録者数が約1,800人、それから10月の月間利用者数が2,400人、1日当たり利用者数が80人で、3台で80人だよ、これ。ですから、目標としては1台当たり60人以上、60回か。60回以上の利用がないと収支のバランスがとれないんじゃないかなと思いますけども。この利用者…利用者がね、伸びない、増えない要因はどのように捉えているのでしょうか、お伺いします。

参事兼政策推進課長 そうですね、いろんなアンケートやら、いろいろ状況を踏まえた上で、利用者からの声を聞いているところでございます。乗っていただいている方については、非常に助かるという声を聞いているのに並行にですね、やっぱりそれを知らない、一回乗ってみようというところにまだ行き着いていない。また、若い世代の交通で、やっぱり自分の車。タクシーみたいに幅広い形で自分ですぐ行ってくれるというニーズが非常に高いと。まだ高いというところがございます。ただ、先ほどの回答のほうにもありました今後やっぱり5年、10年というところを考えると、町は進んでいかなくちゃいけないという観点から、その辺の周知を踏まえて、やっぱりこれからのですね、高齢者を含め、こんな形で便利

になるんだよ、皆さん育てましょうよというところで、多くが乗ってもらう、PRを積極的にやっていくべきだというふうに私は感じておりますので、その辺を踏まえてまた御協力をお願いしたいというふうには考えております。以上です。

12番 寺 嶋 ありがとうございます。やっぱりね、このオンデマンドバス運行、これ本当に予約してね、自分の好きな時間に予約して、自宅近くのね、ミーティングポイントから乗れるということではね、やっぱり相当利便性は高いと思うんですよ。ただね、やっぱりね、町民の…これ、町民の皆さんの本当にこの御理解、それから御理解とね、とにかく生活に町民…デマンドバスあるいは公共交通、路線バスも含めてね、生活にスタイルに合わせた公共交通をね、やっぱり近づけるということで、町民の皆さんそういう意識を持ってね、なおかつこのデマンドバスの運行に協力いただく。こういうところをね、やっぱり意識の高揚というんですか、これがね、大事だと思うんですね。そういう点で、今後この先ほどいろんな団体とか、運行の見直しとかも今後の手段がね、いろいろ述べられましたけども、現在…現在それから今後含めて、各種団体への呼びかけ…働きかけ、あとは自治会等にね、でのおける説明だとかPR活動はどのようになって、今後どのようにされるのか、お伺いをいたします。

参事兼政策推進課長 それでは、寺嶋議員の御質問にお答えをさせていただきます。まず自治会のほうから先に申しますと、松田町地域公共交通会議にですね、自治会の代表者が全部入っております。そこでですね、いろんな意見を聞きながら、料金見直しなどもしております。その中でですね、やっぱりこういう非常に乗っていただけるためにどういう方策がいいのかというところも協議をしています。なかなか今こういう状況で維持するの大変だ。じゃあ、それならば料金を上げようということで今回の料金改定にもなった次第でございます。なので、やっぱり自治会の皆様とともにですね、残りの実証実験、あるいはこの実証実験が3年間というのはありますけども、もう少し必要じゃないかということになれば、町としてもですね、2年の延長とか、そういうのを検討していきたいと今考えておりますので、そういう周知をとともにですね、進んでいるというところでは

ございます。

また本年度はですね、スマホ教室というところで、スマホの教室の中ですね、一回こういうふうなものを取り入れてやるということにもなっております。また大井町さんも含めですね、町民の方からちょっと教えてください、勉強会やってくださいという声があれば、法人のほうで積極的に出向いて行くというところもやっていきますので、それらを踏まえてですね、皆様に乘っていただくための方策を考えて取り組んでいるところでございます。以上です。

12番 寺 嶋 そういうことでね、ぜひ町が主導…町と民間で主導なんだけども、やっぱり町民の方もね、にもそういうところでね、ぜひ働きかけと協力をお願いすることも含めてやっていただきたいと思います。

それでは次にですね、令和6年度においてね、令和6年度ですから来年の、7年の3月末までに今の1年目の結果を踏まえた上でね、この運行計画や乗車運賃などの実情に合わせて、また改定というのもね、行われる…行うようなことも回答がありましたけども、今後3か月ごとに運賃の見直し、車両台数、バス停等の再検討を行うということなんですけども、当然運賃もね、今の状況がいいのか、そういうことも含めてですね。あと、バス停の…ミーティングポイントが現在開成が10か所入れると255か所ぐらいにね、全体でなると思うんですけども、ただやっぱりね、相当長い距離走るミーティングポイントもありますので、公共交通会議等でね、含めて再検討ということなんですけどね。これ、実際、じゃあ仮にですよ、採算が…採算というか、運行距離が長くて往復がね、時間が数十分もね、あるということであれば、ミーティングポイントもね、やっぱり見直しが必要だと思うんですけども、そういうことも踏まえてね、今後具体的に再検討なんですけども、今、具体的なところの何かお考えというのがあるんでしょうか。その辺についてお伺いをいたします。

参事兼政策推進課長 具体的な考えというところでございます。ポイントにつきましてはですね、当初、町民ニーズに対応した形のこの240…松田町は245か所、大井町につきましてもですね、大井町が選んだのではなくて、松田町がここに行きたいという声を踏まえて31か所を設置しております。そこでですね、今、利用実績という

中で、どこのポイントが乗っているというところの利用人数などをですね、地域公共交通会議に諮ってですね、これは要らないのではないかとというようなことがあればですね、そこは検討していく材料となりますので、その辺を踏まえて今後のですね、会議に取り組んでいきたいというふうには考えております。以上です。

12番 寺 嶋 ありがとうございます。時間の関係でですね、次の大きな2番目の水道の耐震化、水道施設の耐震化についてなんですけどもね、今後、管路の更新・耐震化ということで、水道の根幹となる管路についてはですね、事故や災害等があっても安定した供給、給水が行われるように、耐震化や老朽管の更新を適切に行うということが必要だと思うんですがね。この有事の際に町民が集結する避難所などにつながる管を最優先的、最優先に耐震化を行っていくということだと思うんですがね。避難所もやっぱり20か所、30か所、相当あるわけですけども、これも今後3年とか数年の間に耐用年数を迎える管から優先的にやるということなんですが、この、じゃあどの辺…避難所はどこの避難所から優先的にやるのか。あとは老朽化した管はね、どの辺の場所が老朽化していて、何メートルぐらいやって、その計画は何年から何年まで、耐震化の事業計画、今後ね、水道ビジョンなんかもありますけども、今後のやっぱり具体的な計画というのが、これからつくられるのかね。そういう面でお伺いしたいと思います。

環境上下水道課長 避難所、場所というのは今ちょっと手元にないんですが、一応金額的にはこれから5年間…10年間で、松田地区につきましては1.4キロの更新、寄地区につきましては、これは距離は出てないですけど、1,800万ぐらいの更新ですね。松田地区は金額で言うと3,500万の見込みでございます。耐震化計画につきましては、ここの来年の1月までに簡易的なものを全国的な団体は出さなきゃいけないということで、これは正式な計画ではないので、現在、今まで国土交通省が管轄していた下水道は令和7年度中に耐震化計画を出すことになっていますので、その後に多分上水道のほうも同じように出すことになります。それに合わせまして町のほうでは出しまして、今後出てくる国土交通省の指示に従ってまいりたいと考えております。以上です。

1 2 番 寺 嶋 管路の耐震性ということでは、寄簡易水道のこの耐震化の事業をね、これ、あまりほとんど進んでないようですけども、この耐用年数を迎えた管路とか、そういうのは簡易水道のほうはこれ、あまり把握されているのかね。耐震化がほとんど、0.5キロ、0.5キロ、500メートルか。ぐらいしか敷設、耐震化が敷設されてないということになってますがね、今までの経過から、あまりほとんど行われてないようですが、今後もね、簡易水道のほうはこれ、どのようにされるんでしょうかね。大体工事の…。

議 長 時間が来ましたので、すみませんが、まとめてください。

1 2 番 寺 嶋 はい、分かりました。寄地区とそれからまだ簡易…配水池のね、耐震化が進んでないところなどの今後の耐震化の整備についてお伺いをしまして、質問を終わりたいと思います。よろしくお願いします。

議 長 環境上下水道課長、簡潔にお願いします。

環境上下水道課長 今後10年間で寄につきましては管路は一応1,800万の更新を考えております。
(「年間でしょう。」の声あり) 10年間です。(「10年間で1,800万で済むの。」の声あり) の予定です。(「1億8,000万だったよね。」の声あり)

議 長 ちょっと挙手をしていただいて、ちょっと整理ができていないようですので、また後で確認をして、正確なところを…(私語あり)すみません、いいですか、後で正確なところを聞きに行ってくださいかね。(「はい。」の声あり)
じゃあ、これで受付番号第1号、寺嶋正君の一般質問を終わりにします。

暫時休憩といたします。(10時03分)